令和５年
９月 26 日（火）

盛岡市地域福祉ワークショップだより【玉山版】〔巻堀・好摩・渋民・玉山藪川〕

NEWS LETTER

発行
地方創生いわて事業協同組合
（委託元）
盛岡市地域福祉課

9/14(木) 第１回玉山圏域で開催

盛岡市では、9/14(木)に渋民公民館において、第１回目となる「地域福祉ワークショップ（玉山圏域）」を開催しました。

このワークショップは、令和７年度を始期とする「第３期盛岡市地域福祉計画」の策定にあたり、今年度、市内各地区のみなさんから、「人と人とがつながり、共に支え合うまちづくり」を大きなテーマに、各地区での現在の取組と、将来への希望などのご意見をうかがうために開催しており、日常生活圏域に基づき７つに分けて行います。

盛岡市は、徐々に市域を拡大してきたため、各地区の歴史や地区のあり方も異なります。それぞれの地域の特色を大切にしながら、より優しく、市民一人ひとりが安心して暮らせる地域をめざして話し合いを行います。

このニュースレターでは、ワークショップ当日の様子といただいた意見の概要について、お伝えしていきます。

▲グループワークの様子

【当日のタイムスケジュール】

18:30	**■開会** ・市地域福祉課長より挨拶と趣旨説明。 ・進め方（グループごとの話し合い）について説明。
18:45	**■グループごとの話し合い** 各グループには、参加者の話し合いをサポートする進行役が１名入りました。 進行役には、大学生も参加!! ・グループごとに自己紹介 ・地域の交流、顔の見える関係づくり、安心して暮らせる地域づくりのために、今、地域で取り組んでいること、これから取り組みたいことなどについて話し合いました。 【模造紙のイメージ】 意見は、付箋に書いて模造紙へ！
20:00	**■グループ発表** 各グループで話し合ったことを発表し、参加者全員で確認しました。
20:30	**■講評・閉会**

▲グループ発表の様子
１グループ２分の発表時間を設けて、発表いただきました。

“たまやま”の現状と課題、そして未来へ

今回のワークショップで話し合われた内容の一部をお伝えします。

現状と課題

人と人とのつながり

・少子化、小・中学校の統合で学校が分かれコミュニケーションが崩れる。
・祭り、世代間交流など、様々な活動が再開しつつある。
・高齢化が進行している。
・地域において、老人クラブの集まりは大事である。

地域活動への参加者が少ない

・地区のイベントの参加者は、同じ顔ぶれの傾向にある。
・民生委員のなり手不足の傾向、また改選のタイミングが年度の途中であるため、町内会からの推薦が難しい。
・人口減少によって、地域の活動がしづらくなっている。

地域の関わり

・近所の人と野菜のお裾分けをする。
・昔からの“結いっこ”、助け合いが残っている。
・地域での声がけ、あいさつなどコミュニケーションをとっている。

地域の特徴を生かした活動

・環境保全の活動を行っている。
・移動をサポートする活動を行っている。
・盆踊り大会を続けている。

農業の持続的な展開

・集落営農で生涯現役、安心することが出来ている。
・そばやもち、地域の特産品を生かしたい。

今後に向けて

人とのつながりや活動の継続に向けて

・地域でのコミュニケーションを大事にしたい。
・もっと話す機会を持ち、情報を共有し、お互いに支え合うような取り組みをめざす。
・若い人に声をかけていく。若い人と高齢者が一緒に活動できると良い。
・高齢者が増えている中、老人クラブの会員が減少していることから、加入を促進する。
・住民意識の向上を図り、世代交代を促す工夫をする。
・地域の中で、防災意識を高めていく。

小学校跡地の利用

・地域の人が集う場作り。
・スポーツや趣味のクラブ活動の場として利用できないか。
・地域の困り事を相談、解決する場所になると良い。

生活利便性の向上

・公共交通が不便なところに、足の確保をする取り組みが必要である。
・買い物が不便なことへの対策として、移動販売、商店街の再活性化をめざしてはどうか。
・空き家対策としてリフォームを行い、移住者を受け入れる。
・都市計画を見直し、宅地化できるところを増やしては？
・新住民など人口増加により、自治会活動等の活性化をめざす。
・景観の良さを生かして、移住、人口増をめざす。

ミニ知識　玉山の特産品「黒平豆」ってなーに？

▲**黒平豆**は、盛岡市渋民の土地に根付く在来種で、表皮に３本のしわが出る特徴があり、渡鳥の雁が渋民で落とした一粒の種から芽吹き育ったという言い伝えがあります。

アンケート結果より　参加した方々からの感想を紹介します。

・自由に発言できた。
・このようなテーマで話すことがなかったので、良かった。
・他の自治会の現状がわかった。
・とても有意義な時間を過ごせました。地域の事をみつめ直したり、未来を考えたりといい機会をありがとうございます。

「進行役」からひとこと！～印象に残ったこと～

・「皆で呑みながら語らう時間こそが重要」といった話があり、これが生の声なのかと感じました。
・玉山から眺める岩手山が自慢だと皆さんからのお話があり、確かに雄大な岩手山は県内随一の原風景であり、魅力のあるまちだと思いました。